

2020年3月期 決算公告

2019年度（2020年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
現金及び預貯金	2,042,187	保険契約準備金	352,664
現金	109	支払備金	29,210
預貯金	2,042,077	責任準備金	323,454
有形固定資産	15,762	代理店借	262,181
建物附属設備	7,713	再保険借	126,724
リース資産	6,791	その他負債	642,155
その他の有形固定資産	1,257	未払法人税等	58,285
無形固定資産	94,437	未払金	110,840
ソフトウェア	94,287	未払費用	5,475
その他の無形固定資産	150	預り金	2,056
代理店貸	147,917	リース債務	7,253
その他資産	520,471	仮受金	457,036
未収金	402,102	その他の負債	1,207
前払費用	40,293		
預託金	55,753	負債の部合計	1,383,726
仮払金	9,555	（ 純 資 産 の 部 ）	
その他の資産	12,766	資本金	190,000
繰延税金資産	280	利益剰余金	1,270,330
供託金	23,000	利益準備金	1,900
		その他利益剰余金	1,268,430
		繰越利益剰余金	1,268,430
		株主資本合計	1,460,330
		純資産の部 合計	1,460,330
資産の部合計	2,844,056	負債及び純資産の部合計	2,844,056

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物附属設備	3～15年
その他の有形固定資産	3～8年

②無形固定資産

自社利用のソフトウェアの減価償却は、利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

(2) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。

(3) 責任準備金の積立方法

責任準備金は、保険業法施行規則第211条の46の規定に基づき算出した金額を計上しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 57,242 千円

3. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産		
責任準備金		4,065 千円
その他		5,603 千円
繰延税金資産	小計	9,669 千円
評価性引当額		△9,388 千円
繰延税金資産	合計	280 千円

4. 関係会社に対する金銭債務の総額

関係会社に対する金銭債務 35,714 千円

5. 資産除去債務に関する事項

当社は事務所の賃貸借契約に基づき、事務所の退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識しております。

なお、資産除去債務の負債計上に代えて、賃貸借契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積もり、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によって処理しております。

6. 支払備金及び責任準備金の内訳

(1) 支払備金

支払備金（出再支払備金控除前）	584,207千円
同上に係る出再支払備金	554,997千円
差引	29,210千円

(2) 責任準備金

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	5,186,006千円
同上に係る出再責任準備金	4,926,429千円
差引（イ）	259,577千円

異常危険準備金（ロ）	63,877千円
計（イ＋ロ）	323,454千円

7. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金に限定しており、また、借入による資金調達は予定しておりません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
現金及び預貯金	2,042,187	2,042,187	—
代理店貸	147,917	147,917	—
未収金	402,102	402,102	—
代理店借	262,181	262,181	—
再保険借	126,724	126,724	—
未払金	110,840	110,840	—
仮受金	457,036	457,036	—

(注) 金融商品の時価の算定方法

現金及び預貯金、代理店貸、未収金、代理店借、再保険借、未払金、仮受金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

8. 1株当たりの純資産額

384,297円41銭

9. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2019年度

(2019年 4月 1日から
2020年 3月 31日まで)

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	11,279,384
保険料等収入	11,273,180
保険料	5,876,058
再保険収入	5,397,122
回収再保険金	1,050,941
再保険手数料	4,077,965
再保険返戻金	268,216
資産運用収益	0
利息及び配当金等収入	0
その他経常収益	6,203
経常費用	10,924,715
保険金等支払金	6,971,262
保険金等	1,106,362
解約返戻金等	282,516
その他返戻金	2,555
再保険料	5,579,827
責任準備金等繰入額	20,083
支払備金繰入額	2,570
責任準備金繰入額	17,512
事業費	3,912,638
営業費及び一般管理費	3,850,771
税金	13,063
減価償却費	48,803
その他経常費用	20,730
経常利益	354,668
税引前当期純利益	354,668
法人税及び住民税	101,877
法人税等調整額	963
法人税等合計	102,840
当期純利益	251,828

1. 収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料、再保険返戻金及びその他再保険収入	6,144,274 千円
再保険料及び解約返戻金等の合計額	5,864,899 千円
差引	279,374 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	1,106,362 千円
回収再保険金	1,050,941 千円
差引	55,421 千円

(3) 支払備金繰入額

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	51,415 千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	48,844 千円
差引	2,570 千円

(4) 責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前）	203,303 千円
同上に係る出再責任準備金繰入額	193,137 千円
差引（イ）	10,165 千円
異常危険準備金繰入額（ロ）	7,347 千円
計（イ＋ロ）	17,512 千円

(5) 利息及び配当金等収入

預貯金利息	0 千円
計	0 千円

2. 関係会社との取引高

関係会社との取引による費用総額	87,857 千円
-----------------	-----------

3. 関連当事者との取引に関する事項

(単位：千円)

種類	会社等 名称	議決権等の 被所有割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
親会社 の子会 社	(株)ゼウス	—	保険料収納 代行会社	保険料の 収納代行 に関する 業務委託 (※)	9,265	前払費用 収納代行貸 未払金	108 57,614 1,420

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

※収納代行手数料については、他社実績を勘案し、料率交渉の上で決定しております。

4. 1株当たりの当期純利益
66,270円57銭

5. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。